



2017夏のボランティア体験事業 ～さまざまな出会いと学びがありました～

写真は高梁中央保育園での活動の様子。 ※事業の詳細については2～3ページに掲載

2017夏のボランティア体験事業 ……2～3頁

ふれあい福祉講座 ……4～5頁

賛助会員会費 ……6～7頁

赤い羽根共同募金運動 ……8頁

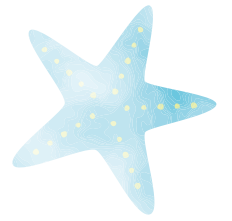
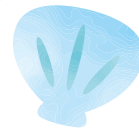
私の町のふくし人 ……9頁

お知らせ ……10頁

寄附者一覧、編集後記 ……11～12頁

ティア体験事業

出会いがありました



活動の様子

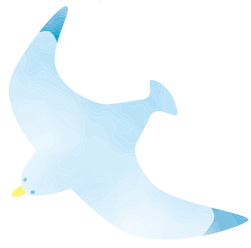


活動を通して気づいたこと…

- 仲間と助けあうことでやり遂げられることがあるのに気づいた。
- 自分が思っていたよりたくさんの仕事があることに気づいた。
- いろいろなことに興味を持ち自分から進んで関わることで、たくさんの出会いがあることに気づいた。
- 手話を使うことによって、会話ができることに気づいた。
- たくさんの人に支えられていることに、改めて気づいた。
- 小さなことが、人の為になっていることに気づいた。

施設・団体からのコメント

- 優しい気持ち、思いやる気持ちを忘れず大切にこれからも頑張ってください。
- 学生が来ることで利用者の表情も明るくなり、いつも以上に笑顔が増えました。
- 行事やレクリエーションでは盛り上げてもらいました。
- 一人ひとり目標を持ち、ボランティア活動をしていたので、立派でした。
- ボランティア活動を、一生懸命取り組んでいたのが印象的でした。
- ボランティア活動が、今後将来何かのきっかけになってくれたらと思います。



2017夏のボラン

さまざまな学び 気づき

事後研修会

8/26

30施設 4 団体にボランティア活動を行った学生は、グループに分かれて活動の振り返りを行いました。

体験を通して、どのような気づきや感動があったのか、また、『みんなが暮らすまち』高梁市を住みよいまちにするために、どんなことに心掛けたいかなど、各グループで話し合い共有しました。

事前研修会

7/17

市内の中・高・大学生222名が参加。ボランティア活動をより有意義なものにするため、講師2名を迎え、活動中の心構えやマナーについて学び、それぞれに目標を立てました。その後、活動先の担当者と面談し、活動内容や日程を確認しました。



藤井 琴美さん
(高梁城南高校1年)



夏ボラに参加して…

【活動先】
生き生き館巨瀬

3度目のボランティアでしたが、高校生になってからは初めてだったので、新しい気持ちでボランティアに参加することができました。

利用者の方と関わることも十分でき、充実した5日間を送ることができました。来年も参加したいです。ありがとうございました。



受入施設・団体の皆さまへ

貴重な体験の場の提供と本事業へのご協力ありがとうございました。

ふれあい福祉講座

7/25

テーマ みんなでつくる いきいきと暮らせる愛のまち たかはし
～ささえあい・たすけあいのまちづくり～

福祉委員や民生委員児童委員、老人クラブ会員など約660人が参加されました。

実践発表

川面地区社会福祉協議会

会長 西村 匡弘さん



川面地区社会福祉協議会では、誰もが気軽に利用できる居場所作りの取組みとして、昨年から『カフェわ・わ・わ』を運営している他、地域の絆を深めるために、敬老会や世代間交流のグラウンドゴルフ大会等を実施しています。

また、町民の生活実態等を把握・解決していくためにニーズ調査を実施し、その結果から、日常的な見守り声かけなどの互助活動の重要性を再確認しました。

「これからの福祉は地域が主役。福祉委員活動への更なる理解と協力が鍵になる」と力強く話されました。



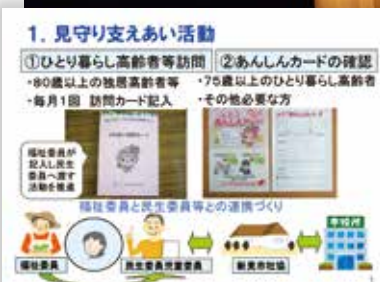
新見市思誠地区社会福祉協議会

会長 乗本 進さん



新見市思誠地区社会福祉協議会では、福祉委員と民生委員児童委員が連携した見守り支え合い活動として『訪問カード』を活用したひとり暮らし高齢者等の訪問やゴミ袋やお弁当を持つての友愛訪問事業などを実施しています。

また、民生委員児童委員と行政等関係機関のみで実施していた『小地域ケア会議』については、よりさまざまな立場の住民が参画する協議の場になればと、形態を見直し、地区社協役員もメンバーに加わって、より効果的に福祉課題・取り組みについて協議する場となっています。



記念講演

若年性アルツハイマーの
母と生きる

フリーアナウンサー 岩佐まりさん

55歳の若さで、「若年性アルツハイマー病」と診断された母を働きながら介護する日常について講演がありました。

始まりは、とても小さな小さな物忘れ。その後症状が悪化し、ぬいぐるみに話しかけたり、暴言や罵声を浴びせられることもあるなかで、いつも笑顔を大切に、大好きな母との時間を過ごされています。



職員寸劇

社協職員による
迷演技!



お助けマン参上!



地区社協やふれあいサロン
団体による作品展示・販売



いただいた法人・ふるさと会員



有限会社 川上物流
 有限会社 共栄舎
 株式会社 三美産業
 地頭石油株式会社
 株式会社 シャガード
 タナカオート
 名合商店

有限会社 濱農産
 備北バス株式会社
 平松運輸株式会社
 南工業有限会社
 三原機工有限会社
 三村加工有限会社
 三輪新聞販売所
 株式会社 山室建設
 山本酒造株式会社
 有限会社 渡辺畜産

(備中地区)

アグリテクノ矢崎株式会社 備中工場
 赤木酒造株式会社
 朝日堂
 有限会社 小川鉄工所
 グループホームやすらぎ荘
 杉田商店
 株式会社 大宝建設
 宗教法人 大通寺
 七地屋
 長谷川工務店
 有限会社 東平建設
 備中商事
 藤田商店
 株式会社 ホンダカーズ高梁
 有限会社 松井組
 株式会社 三宅ファーム
 株式会社 モリサキ

(市外)

株式会社 郁文社印刷
 ダスキン作州有限会社 横山
 西本薬品株式会社
 株式会社 前田サービス岡山

◆ふるさと会員

(高梁地区)

総社市 阿部 冬子
 兵庫県 有安 斉
 京都府 伊藤 謙介
 兵庫県 伊山 真佐子
 埼玉県 伊山 佳男
 東京都 大塚 ゆり江
 東京都 柏木 章一
 兵庫県 神野 陽子
 兵庫県 亀山 修
 京都府 亀山 照美
 広島県 河原 尚士
 東京都 小見山 浩有
 京都府 小山 清子
 兵庫県 白神 哲雄
 総社市 須山 節夫
 大阪府 高橋 佳子
 兵庫県 徳森 貞子
 兵庫県 難波 充
 総社市 西 賢
 愛知県 西 乗雄
 大阪府 平松 敏
 倉敷市 平松 典雄
 岡山市 福瀧 允
 広島県 古川 千鶴
 岡山市 松本 高志
 倉敷市 三村 寿
 香川県 三宅 進
 熊本県 森下 展行
 岡山市 森本 聡美

(有漢地区)

千葉県 村田 光範

(成羽地区)

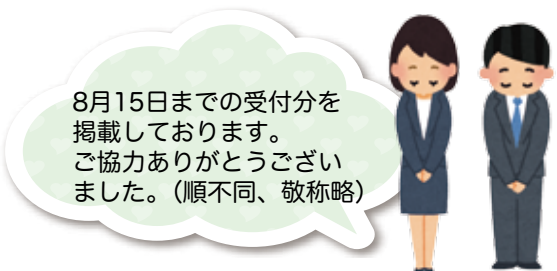
兵庫県 仁後 寿男
 大阪府 松田 進

(川上地区)

神奈川県 江草 務
 兵庫県 柏木 忠之
 大阪府 金子 孝
 井原市 川上 文子
 東京都 川上 芳男
 井原市 倉橋 妙香
 岡山市 須藤 勇
 大阪府 妹尾 修治
 岡山市 中西 輝雄
 京都府 那須 芳
 埼玉県 藤森 幸美
 奈良県 三村 治也
 岡山市 山室 斐士
 大阪府 若林 恭子

(備中地区)

茨城県 岡崎 博
 新見市 難波 道典
 倉敷市 古米 完二
 東京都 古米 弘明
 兵庫県 古米 浩
 倉敷市 物部 宣太郎
 新見市 山本 明子
 鳥取県 脇本 喜美恵



8月15日までの受付分を掲載しております。ご協力ありがとうございました。(順不同、敬称略)

平成29年度 賛助会員会費について

市内外の方々へご協力をお願いしております、平成29年度の賛助会員会費について、多くの皆さまからご理解ご協力を賜わり、ありがとうございます。

この会費は「ふれあいサロン事業」や「敬老事業」などの地域福祉活動を推進していく上で、欠かせない貴重な財源となっております。

引き続き、賛助会員を募っておりますので、会員制度の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

【賛助会員】

- 普通会員
高梁市民 1口 1,000円
- 法人会員
市内の法人(事業所を含む) 1口 3,000円
- ふるさと会員
市外居住者 1口 3,000円
- 特別会員
特別な協力者 1口 5,000円

平成29年度 賛助会員会費にご協力

◆法人会員

(高梁地区)

赤木食品株式会社
社会福祉法人 旭川荘 たかはし松風寮
株式会社 阿新レジャー開発
イーグル工業株式会社 岡山事業場
有限会社 ウエルネス・プランニング GH ウエルネス津川
有限会社 魚富
荏原環境プラント株式会社 高梁管理事務所
オー・ケイ技建有限会社
株式会社 オークスコーポレーション
有限会社 太田商会
株式会社 大森材木店
岡山県西部ヤクルト販売株式会社 高梁センター
岡山県高梁生コンクリート協同組合
岡山県遊技業協同組合 高梁支部
株式会社 カートピア吉備
協業組合 カートピア車検センター
有限会社 加藤商店
有限会社 川上商店
有限会社 川口写真館
株式会社 川崎工業所
桑内耳鼻咽喉科医院
鯉正酒造株式会社
甲子園観光株式会社
こころの医療 たいようの丘ホスピタル
有限会社 小見山事務商事
株式会社 小見山モータース
さくらメディカルサービス 高梁営業所
佐藤建設工業株式会社
三栄建設コンサルタント株式会社 高梁支店
三京株式会社
株式会社 山陽オカムラ
山陽興産株式会社
株式会社 三和サービス
有限会社 須山商店
大栄商事株式会社
有限会社 タイチ
高梁川漁業協同組合
株式会社 高梁国際ホテル
高梁食品株式会社
武田鑄造株式会社 高梁工場
株式会社 田中紙店
田中石材工業株式会社
株式会社 たにもと
株式会社 タマダ
一般財団法人 中国電気保安協会 高梁営業所
TKC. 岡山総合会計有限会社 高梁支店
有限会社 天任堂
医療法人 仲田医院

中村建設株式会社
有限会社 中村損害保険
縄手商事株式会社
ニシヨウ株式会社
日軽形材株式会社
野田コンストラクション株式会社
株式会社 能登原商店
有限会社 ハイビス
株式会社 パインツリーゴルフ
有限会社 伯備運輸
有限会社 長谷川タイヤ商会
株式会社 樋口運輸 高梁営業所
備中開発株式会社
備北液化ガス販売株式会社
株式会社 備北オートセンター
備北興業株式会社
ふじかわ眼科 高梁分院
株式会社 本多組
有限会社 まつ屋
株式会社 ママドライセンター
丸橋工務店有限会社
株式会社 マルフジ電器
有限会社 水野組
森下電工有限会社
有限会社 森十自動車工作所
有限会社 森田商店
山本印刷所
株式会社 ゆめ フク・ホーム
有限会社 ワタナベトヨ一住器

(有漢地区)

株式会社 アークコンサルタント 高梁支店
株式会社 魚省本店
株式会社 有漢観光
有漢診療所
有漢郵便局
有限会社 大月産業
岡山イーグル株式会社
上有漢郵便局
河原板金工業
倉野工務店
有限会社 クロ工
有限会社 島田建設
有限会社 千崎建設
有限会社 戸田商会
戸田鮮魚店
有限会社 ハスイサービス
有限会社 原木材工業所
有限会社 平山電建
藤森モータース

芳烈酒造株式会社
丸五シーエス工業株式会社
マルサ醸造有限会社
山根商事有限会社
有限会社 山脇モータース
株式会社 夢ファーム有漢
有限会社 和田組

(成羽地区)

アサオ写真館
石田商店
泉食堂
伊藤食品有限会社
大東建設株式会社
河内鮮魚店
岸本精密発條(株)岡山工場
クロカワ工業株式会社
柴田興産株式会社
白菊酒造株式会社
成美工業株式会社
ゼノーテック(株)備北工場
有限会社 高木建設
だるま屋商店
丹下建設株式会社
デイリーフーズ秋岡屋
株式会社 トリムス岡山工場
株式会社 ナリケンテクノ
成羽運送株式会社
成羽川生コン株式会社
柳井芳文堂

(川上地区)

アグリフーズ有限会社
旭川荘かわかみ療護園
旭川荘望の丘ワークセンター
株式会社 池田建設
株式会社 池田本店
石川北観光有限会社
有限会社 馬山商会
株式会社 大塚組
株式会社 大月組
株式会社 大月石材店
大森精工有限会社
株式会社 岡崎建設
株式会社 カードック滝本
有限会社 カーライフ那須
有限会社 かつこう花グループ
有限会社 かねたか農機
有限会社 唐崎工業
川上工業株式会社
川上電工協業組合



赤い羽根共同募金運動が10月から 始まります

運動期間：10月1日～12月31日

今年も10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動がスタートします。
高梁市共同募金委員会では、戸別募金、法人募金をはじめ、市内のイベント等で募金運動を行います。
あなたのやさしさが、あなたの声かけが、あなたの行動が、地域を変えていくはじめての一步となりますので、
本年度も皆さまからのあたたかいご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



H29 赤い羽根ポスター



街頭・イベント会場での募金運動の様子



▽お問い合わせ先

有漢支所 ☎57-3218
川上支所 ☎48-9770
地域福祉課 ☎22-7243
成羽支所 ☎42-2005
備中支所 ☎45-3131

希望される方は、申請書の提出が必要です。申請書は、地域福祉課および各支所、各地域市民センターに備えています。申請時には、特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証をご持参ください。

☆申請方法

- 指定難病(330疾病)の対象の方
- 特定疾患治療研究事業(4疾病)の対象の方
- 人工透析を受けられている方

☆対象者

高梁市社会福祉協議会では、高梁市共同募金委員会から配分を受け、歳末たすけあい支援事業として、次に該当する方々に慰問金の贈呈を行っています。なお、申請の締切は平成29年11月20日(月)までです。

お知らせ

歳末たすけあい支援事業

「歳末たすけあい運動」は共同募金運動の一環として、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らすことができるよう支援するものです。歳末たすけあい運動へのご協力をお願いします。

歳末たすけあい運動

11月1日～12月31日まで



私の町の
ふくし

ふくしとは、

- ふ ぶつう (普段) の
- く 暮らしが
- し 幸せであること。

とされています。

このコーナーでは、そんな福祉のまちづくりのために地域で頑張っておられる方を紹介していきます。



furukawa yasuko

会長
古川靖子さん
玉川地区社会福祉協議会

美しい緑の山並みとその裾野を流れる清らかな玉田川は四季折々に姿を変え、私達の心を和ませてくれます。そんな玉川町も近年一人暮らしや高齢者世帯が増え、町内会としての機能を果たしにくいところも出てきています。

平成16年に民生委員を引き受け、配食ボランティアとしても活動しています。利用者宅を訪問して「お変わりありませんか。お弁当を届けに参りました」との声かけに、「いつも美味しく頂いています」という返事。ほっとした安らぎを感じます。

私の担当する増原地区では、現在6町内会で4カ所のふれあいサロンを実施しています。春の花見、秋には収穫祭と題して舞踊やカラオケをみんなで楽しみます。その他、それぞれの会場では講話を聞いたり、おしゃべりをしてふれあいを深めています。また、福祉委員を中心にボランティアが手作りしたお弁当をいただいています。出席できない方には見守りを兼ねて弁当を届けていますが、身近な人の訪問が大変喜ばれています。

毎年9月には永年地域のために尽力された高齢者の方の長寿をお祝いして町内8カ所で敬老会を開催し、ボランティア団体『まるたま会』の手作り弁当を囲んで親睦を図っています。恒例となったこ

の行事も、皆さんから心待ちにしていただいているようです。

さらに、昨年10月には福祉委員を中心に『にこにこカフェ』を立ち上げました。毎月第2月曜日、市民センターに30人余りが集まり、お茶やコーヒーを飲みながら情報交換をして、人と人とのつながりの輪を広めるとともに、介護予防活動の促進を目的とした「ロコモ体操」を行っています。

このような活動が続けられるのも地域の皆さんのご協力があったからと感謝しています。これからも皆さんと一緒に助け合い支え合って、安全で安心して暮らせる地域社会を目指し微力ながら取り組んでいきたいと思っています。



敬老事業の助成金交付申請を受付しています

永年にわたり地域の発展に尽力された高齢者を敬愛し長寿を祝う敬老事業（敬老会）に対し、助成を行います。

助成金の交付を希望される団体等は、地域福祉課および各支所、各地域市民センターで申請手続きをお願いします。

※必ず開催前に申請をしてください。

▼対象事業

本年9月から11月末日までの期間内に実施する敬老会。ただし、現金や記念品等の贈呈のみの事業は除きます。

▼対象者

平成29年8月1日現在で市内に住所を有し、平成30年3月31日までに満75歳以上になる方

▼助成金の交付額

対象者のうち、敬老会に参加された方1人当たり1,500円を助成

※この他に、敬老会実施地域内の在宅の方で満88歳（昭和44年4月1日～昭和55年3月31日の間にお生まれの方）を迎え

られる方に対して1人当たり1,500円を助成

▼支給要件

①複数の敬老事業で対象者が重複した場合は、1回のみ支給対象となります。

②実施区域は、町内会単位以上の規模での実施

③実施主体は、地域住民の創意工夫により、さまざまな地域内の団体・グループ等を対象



「高齢者・障がい者なんでも相談会in高梁」の開催について

毎日の生活の中で、法律や福祉について困っていること、悩んでいることはありませんか。

この相談会では、安心して地域で生活できるように、法律や福祉などについてのご質問・ご相談、虐待や権利侵害に関するご相談などをお受けします。

○日時

平成29年11月18日(土)
午前10時～午後3時

○場所

高梁総合文化会館
(高梁市原田北町1-2-2)

○相談対応者

弁護士、司法書士、社会福祉士、精神保健福祉士、税理士、社会保険労務士、行政書士、医療ソーシャルワーカー、介護支援専門員 など

また、同日開催で成年後見制度入門（基礎）講座を開催します。

○内容

「成年後見制度って、どんな制度？」

○講師

高梁ひまわり基金法律事務所
久貝克弘 弁護士

○時間

午後1時～午後2時

○会場

2階レクチャールーム

相談は無料。事前の予約は必要ありませんので、気軽にお越しください。



高梁市シルバー人材センター会員募集中

高梁市シルバー人材センターでは、高齢者の皆さんが今まで培ってこられた豊かな知識、経験、技術を発揮する場を提供しています。随時、会員を募集しておりますので、気軽にご相談ください。

▼会員の条件

- ①おおむね60歳以上で、健康で働く意欲がある方
- ②シルバー人材センターの趣旨に賛同し、入会説明を受け「入会申込書・就業承諾書」を提出された方
- ③市社協会長から入会を承認された方

お知らせについての問い合わせ先

地域福祉課	☎22-7243
有漢支所	☎57-3218
成羽支所	☎42-2005
川上支所	☎48-9770
備中支所	☎45-3131

社会福祉協議会へのご寄附

ありがとうございました。

平成 29 年
7月～8月

社会福祉法人高梁市社会福祉協議会へ平成 29 年 7 月と 8 月にいただいたご寄附についてお知らせします。
心から感謝申し上げ社会福祉事業に活用させていただきます。
なお、金額等については寄附者の意向によって掲載しています。
(敬称は略させていただきます。)



【香典・玉串料・御花料返し】

《高梁支会》

《高梁地区》

金一封 川面町 藤村 明子

(故・浩司様)

金一封 高倉町 渡邊 和民

(故・マツ様)

金一封 津川町 小野喜久二

(故・正江様)

金一封 高倉町 上田 健三

(故・常子様)

金一封 松山 川口 君高

(故・トモ子様)

金一封 巨瀬町 島田 達弥

(故・隆典様)

金一封 落合町 仲田 芳生

(故・徳子様)

金一封 川端町 難波 晴一

(故・彰様)

金一封 総社市 伊達 初

(故・静雄様)

金一封 新町 山田 恭子

(故・光政様)

金一封 川面町 藤井 正直

(故・登亀様)

金一封 川面町 西村 匡弘

(故・榮一様)

金一封 落合町 宮脇 厚子

(寄附として)

《津川地区》

金一封 津川町 小野喜久二

(故・正江様)

《川面地区》

金一封 川面町 藤村 明子

(故・浩司様)

金一封 川面町 藤井 正直

(故・登亀様)

金一封 川面町 西村 匡弘

(故・榮一様)

《巨瀬地区》

金一封 巨瀬町 大江 政史

(故・敏子様)

金一封 巨瀬町 島田 達弥

(故・隆典様)

金一封 巨瀬町 森本 伸之

(故・幸江様)

《玉川地区》

金一封 倉敷市 竹波 菊夫

(故・佳子様)

《松原地区》

金一封 松原町 鞠子 政治

(故・三象様)

《高倉地区》

金一封 高倉町 渡邊 和民

(故・マツ様)

《有漢支会》

金一封 有漢 辻 洋子

(故・綾子様)

金一封 上有漢 中山 俊三

(故・巻枝様)

《成羽支会》

金一封 下原 官尾 章生

(故・雅彦様)

金一封 成羽 富弥 貢

(故・志郎様)

《川上支会》

金一封 三 沢 渡辺 誠

(故・美代子様)

金一封 地 頭 川上 勘一

(故・敏子様)

金一封 下大竹 笠原 範彦

(故・裕助様)

金一封 領 家 岡崎 明博

(故・隆夫様)

金一封 下大竹 堀江 明

(故・金季様)

《備中支会》

金一封 東油野 中井 絹代

(故・栄太郎様)

金一封 西油野 村上 勝彦

(故・春栄様)

【一般寄附】

《高梁支会》

《高梁地区》

金一封 高梁市 高梁詩吟の会

(一般寄附として)

金一封 匿名

(社会奉仕として)

第 398 回、第 399 回目)

《中井地区》

金一封 中井町 柴倉 勝己

(火事見舞いお礼として)

金一封 中井町 宮脇 昭則

(長男の退院内祝いとして)

《落合地区》

金一封 落合町 西 二重

(退院内祝いとして)



《川上支会》

金一封 仁 賀 赤木 清子
(退院内祝いとして)

金一封 上大竹 下川 廣行
(退院内祝いとして)

《備中支会》
金一封 布 賀 福嶋 平
(退院内祝いとして)

金一封 東油野 石原志摩子
(退院内祝いとして)

お詫び
第74号(7月15日発行)において誤りがありました。
お詫びして訂正いたします。

《有漢支会》
金一封 上有漢 森岡 好恵
(退院内祝いとして)

《有漢支会》
金一封 有 漢 森岡 好恵
(退院内祝いとして)

【一般寄附】
有漢支会

高梁市生活あんしんサポートセンター



市社協では経済的問題、健康問題、家庭問題等様々な問題を抱えている方々の相談に応じ、必要な支援を行うための相談支援窓口「高梁市生活あんしんサポートセンター」を開設しております。

相談日等は次のとおりです。

場 所：高梁総合福祉センター

☎ 22 9111 (直通) FAX 22 0845

相談日時：月曜日から金曜日

午前9時から午後5時まで

休業日：土・日・祝日 年末年始

ふれあい相談



★福祉総合相談

毎週月～金曜日(祝日を除く)

午前8時30分～午後5時15分

※随時相談に応じます。
また、プライバシーは完全に守られます。お気軽にどうぞ。

編集後記

9月も中旬を過ぎると、爽やかな季節の訪れと共に、日暮れが早くなつたなと実感します。各地の運動会や田んぼの稲刈りも終盤を迎えると、夏の疲れの名残も加わり、やっぱり行きつく所は『食欲の秋』。

新米にピオーネ、そして松茸と食べたいものが溢れた高梁の秋を満喫したいものです。

7月に開催されたふれあい福祉講座について今号で掲載しています。その中で講師の方が「75歳を過ぎると4人に1人は認知症の可能性」との意味深長な講演をされました。市内の高齢化率を考えると、自分の将来を含め不安は増すばかりです。

しかし、認知症になっても、ならなくても誰もが地域でのふれあいや、住民相互支援を通して、元気に過ごしていける福祉のまち高梁を目指し、社会福祉協議会は活動しています。

しかし、秋の夜長に頭を過ぎるのは、飛んで来るかもしれないミサイルへの不安ではなく、彼岸に食べるのは『ぼた餅』だったか『おはぎ』だったかという、徒然なる思いでした。(f・t)



この広報紙は、寄附金の一部を活用して発行しています